

# 安心の老後を考えよう

## 荒川区の

### 支援が必要な高齢者の住まいの現況 (定員数)

特養ホーム	区内 348 (南千住・町屋に新設予定)
	(参考: 区外契約 63 八王子・あきるの・青梅)
	稲毛・日の出・瑞穂・葛飾・越谷)
老人保健施設	405
介護療養型病床	181 (削減するかどうか議論中)
認知症グループホーム	106 (新設予定ではあるが場所未定)
有料老人ホーム	330 程度 (利用料が 20 数万円と高く、 今も空きがある)
さくらハイツ	160 (区営・管理人付)
	計 1530 = 高齢者人口の 4% 弱
	(残念ながら 2005 年の全国平均より低い)

高齢化が進む、北欧では高齢者人口の 6.5 ~ 10% の「特別な住居」(施設というよりアパート)の整備が進められている。日本では、施設を含めて 4.4% (2005 年)しか整備されておらず、高齢者の住まいへの対策が非常に遅れているという批判が続いてきたが、自公政権では、積極的に取り組まなかった。今回の政権交代で、その人らしい老後を通せる高齢者施策が展開されるよう、期待している。

### 住宅政策と在宅サービスの充実が必要!!

## 「リハビリで健康寿命を伸ばし、在宅で最後まで」をめざそう!

「ニルスの国の高齢者ケア エーデル改革から 15 年後のスウェーデン」(藤原瑠美 著)によると、スウェーデンでは、高齢者には医療よりもリハビリや介護中心のケアが行われている。病院を退院するとき、在宅で過ごすためのリハビリ計画を立て、地域で支援を徹底するという。

この本で紹介されていたのが、この、「私の記録」。元気なうちに、自分の老後と最後に備えるよう自治体が用意している。あなたも備えてみませんか。

- 1) 自分の好みとバックグラウンド
  - ① 興味を持っていること、子ども時代、かけがえない人生の経験、特別に感じやすいこと、恐れていること。
  - ② 食事の好み、食事アレルギー、飲みたいもの、飲みたくないもの。
  - ③ 音楽が好きか嫌いか。
  - ④ 好きなテレビとラジオの番組。好きな本、購読したい新聞。
  - ⑤ 何をすることが好きか、なにをしている時が幸せか、悲しい時はどんな時か。
  - ⑥ 好きな髪型、洋服、シャワー(お風呂)の好み、お化粧、タバコ。
  - ⑦ 起きる時間、寝る時間、昔からの習慣、四季の行事。
  - ⑧ 宗教
- 2) 住宅環境
  - ① 引っ越しに持っていきたい、家具、絵、本など。
  - ② 自分の家に住めなくなったら、ここに越したい(どの「特別な住居」がいいか。どのコミュニティに住みたいか)
- 3) いのちのサポートシステム  
もし、私が呼吸困難になったら  
・人工呼吸器を使う・人工呼吸器を使わない  
もし、私がものを食べられなくなったら  
・胃瘻を使用する・胃瘻を使用しない  
・点滴を使用する・点滴を使用しない
- 4) 私の一番近い親戚でこの記載について知っているのは  
名前: 電話番号
- 5) 他の望み、私が一番望んでいるのは(特に~です)



◆ 10月1日から「化学物質過敏症」という病名がやっと標準病名マスターに登録され、診療レセプトに書く病名として認められる。今後、化学物質過敏症で苦しむことのない社会を目指す一歩となることを期待している。  
◆ 南千住3丁目のリサイクルセンター建設に、近隣住民の反対の声があがっている。説明不足を解消できるかどうか鍵を握る。

### ひとこと言いたい

● 政権交代の次は、政権を監視する、そして、みんなで発言する、それが大切だ!  
(K)